

アイ, ロボット (2004)

I, ROBOT

メディア 映画

ジャンル SF アクション サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 115分

初公開日 2004/09/18

公開情報 FOX

【キャッチコピー】

ルールは破られた、未来は守れるか。

【解説】

SF小説の巨匠アイザック・アシモフの短編集『われはロボット』をモチーフにしたSFサスペンス・アクション。有名な“ロボット3原則”によって人間とロボットが共存する近未来の地球を舞台に、ある殺人事件に疑問を抱く一人の刑事とロボットとの熾烈な攻防を描く。監督は「クロウ／飛翔伝説」「ダークシティ」のアレックス・プロヤス。主演は「バッドボーイズ」「メン・イン・ブラック」のウィル・スミス。ちなみにアシモフによって提唱された“ロボット3原則”とは、(1)ロボットは人間に危害を加えてはならない、(2)ロボットは(1)に反しない限り人間から与えられた命令に服従しなければならない、(3)ロボットは(1)及び(2)に反するおそれのない限り自己を守らなければならない、というものの。

2035年、シカゴ。街中では家庭用ロボットが普及し、人間の生活に必須なものとなっていた。ある日、巨大企業USロボティクス社に勤務するロボット工学の第一人者アルフレッド・ランニング博士が謎の死を遂げる。ロボットを毛嫌にするシカゴ市警のデル・スプーナー刑事は、博士が開発したNS-5型ロボットの“サニー”に疑いの目を向ける。捜査に協力するUSロボティクス社のロボット心理学者スーザン・カルヴィン博士は、“3原則”を理由にロボットが人間へ危害を加えることは絶対にあり得ないと主張するのだが…。

【クレジット】

監督	アレックス・プロヤス	Alex Proyas
製作	ジョン・デイヴィス	John Davis
	ウィック・ゴッドフリー	Wyck Godfrey
	トファー・ダウ	Topher Dow
	ローレンス・マーク	Laurence Mark
製作総指揮	ジェームズ・ラシター	James Lassiter
	トニー・ロマーノ	Tony Romano
	ミシェル・シェーン	Michel Shane
	ウィル・スミス	Will Smith
原作	アイザック・アシモフ	Isaac Asimov
原案	ジェフ・ヴィンター	Jeff Vintar
脚本	アキヴァ・ゴールドズマン	Akiva Goldsman

(アイザック・アシモフの小説をモチーフとする)

	ジェフ・ヴィンター	Jeff Vintar	
撮影	サイモン・ダガン	Simon Duggan	
音楽	マルコ・ベルトラミ	Marco Beltrami	
出演	ウィル・スミス	Will Smith	デル・スプーナー刑事
	ブリジット・モイナハン	Bridget Moynahan	スーザン・カルヴィン博士
	ブルース・グリーンウッド	Bruce Greenwood	ランス・ロバートソン
	シャイ・マクブライド	Chi McBride	ジョン・バーギン副署長
	アラン・テュディック	Alan Tudyk	サニー
	ジェームズ・クロムウェル	James Cromwell	アルフレッド・ランニング博士
	シャイア・ラブーフ	Shia LaBeouf	ファーバー
	エミリー・テナント	Emily Tennant	
	ジェリー・ワッサーマン	Jerry Wasserman	
	エイドリアン・L・リカード	Adrian L. Ricard	祖母
	フィオナ・ホーガン	Fiona Hogan	V. I. K. I
	シャロン・ウィルキンス	Sharon Wilkins	